

1. [子育て支援について]

大東町会場（久野交流センター）

Q3：13年前に久野中学校が廃校になり、10年後に幼稚園がなくなり、来年は小学校がなくなる。久野地区民のよりどころがなくなり、少子高齢化ということもあるが、なんとしても活力が落ちた気がする。残っている建物について今後どのような方法で維持・利用するか試案はあるか。

A：久野小廃校後の施設利用管理について、雲南市になってから何校か小学校・幼稚園が廃校している。昨年の段階で、建物をどうするかということで、基本的には廃校後3年間のうちに次の活用方法を考えるという方針を出している。その3年間のうちに一定の活用方針が見出されたならば、その後は活用方法のもとでそれぞれ市の担当や地域などをお願いするが、それが決まるまでは当面教育委員会が施設管理していくという考えである。（教育部長）

Q4：久野小学校は6月に最後の運動会をした。子どもたちはとてもきびきびとして、先生と親と地域と一体となった楽しい運動会でもあり、寂しい運動会でもあった。その中で、子どもたちが、水が美味しい・水がきれい・緑がきれい・空気が美味しい、と言っていた。このことは非常に大事なことだと思う。原発などいろいろ騒がれている中で、このことを子どもたちに忘れて欲しくないと思った。住んでいないと結構忘れる。以前は教育委員会主催で桃源郷のサマーキャンプがあった。飯盒炊飯をしたり、いろいろなことをやってこられた。現在は久野小学校だけでやっているが、ほかの学校が来られることは聞いていない。その代わりに、三瓶山や少年自然の家に行かれる話も聞いている。地元には桃源郷があるので、今後は活用して欲しい。また、三郡山で2年に1回、昔の三郡、山佐小・高田小などと久野小、いずれも極小学校だが、5～6校集まって登山をするのだがとてもいいことと思う。今後も利用をお願いしたい。それから、よく言われるが、中学生など部活動が忙しくて地域の行事に参加できないということがあるので、全部が全部参加できないかも知れないが、指導者の方と話して、ぜひ子どもたちを地域に返して欲しい。

A：久野地区の皆さんは同じ気持ちだと思う。地域の拠点である小学校がなくなると寂しい、それだけに子どもたちの姿が見えない・声が聞こえないと本当に寂しいと思う。そのためにできる限りこれから統合する大東小、既に統合している大東中、また大東幼の先生と協力し、また、地域の皆様のご理解のもとで、地域の子が地域で活動できる努力をして行かねばならない。昨日自分も短い時間だったが、桃源郷キャンプに参加した。子どもたちはすばらしい体験をしていた。これから団結していこうという思いが伝わってきた。教育委員会としても活動支援して行きたい。こういう行事をどこでやるかと言うと、1つは夏休みを利用して、様々な史跡など雲南市の良さを巡って知ってもらうためのキョロパスというパスポートを出している。そういう中でぜひ桃源郷に行って欲しいと思う。教育委員会の主催でやっていたキャンプは検討したい。また、雲南市では地域での通学合宿、多いところでは5泊6日くらいで交流センターで宿泊しながら学校へ通う、そういう事業をされている。大東町では阿用地区・阿用小学校で今年初めて取り組まれた。学校・地域・家庭・子どもが連携を取りながら、こういった事業が進められると思う。関連して学校側のご理解、家庭のご理解、部活・スポ少のご理解をいただきながら、子どもたちが地域の自然のすばらしさ、良さを知っていけるように、子どもも支援をしていきたいと思うのでよろしくお願いしたい。（教育長）

Q5：雲南市の子育て支援事業はすばらしい、私たちの知らない以上ががんばっていただいていると感じた。雲南市の将来を担っている子どもたちの健やかな成長という観点を持ち合わせていただきたいと思う。雲南市の保育園の待機児童はどのくらいおられるか。わかれば教えてほしい。それから、放課後児童クラブの充実が今後は必要と思うので現状を教えて欲しい。どの学校にもあるのかなのか。また、アンケートを今後やるということ、結果を今後の事業運営に生かしていかれると思うが、子育てや子どもたちを健やかに育てる、この観点を一括あわせて課題や問題点が出てくるようなアンケート内容にしていきたいし、時代が次々変わって

いくので早い対応をお願いしたい。

A：待機児童について、保育所は希望が多い状況。雲南市の保育所の定員は1,000人ちょうどとなっている。現在入所児童数は1,040人弱の状況で、定員より40人くらい多いが、定員以上に入所できることになっているので、このことについて問題はない。ただ、待機児童はいないが、きびしい状況ではある。放課後児童クラブは市内9か所ある。すべての小学校区にあるわけではない。大東町には4ヶ所ある。アンケートは今年度のところで、これから子どもさんを産まれる方・現在子どもを育てている方を対象に、市内全世帯対象にと考えている。ただ内容はまだ固まっていない。国の方でもこういうアンケートということがあるので、それが固まり次第、秋くらいにはアンケートのお願いをする予定にしている。取りまとめた結果をふまえて来春くらいから検討して、市としての子育ての施策をどう進めていくか、妊婦検診・予防注射・保育園・幼稚園・放課後児童クラブなど全般にわたってどういった施策をとるか検討する予定にしている。これについては子育て会議を設置して、保護者の方、保育の専門家・学識経験者などからもご意見をいただき、計画を策定していきたいと考えているのでよろしくお願いしたい。(健康福祉部長)

要望：すみやかな対応をぜひお願いする。